

上尾橋高校で、未来へはばたく翼を手に入れませんか？

数年前に、上尾橋高校の一角に小さなツバメの巣が作られました。親鳥たちは交代で卵を温め、やがてかわいいヒナたちが生まれました。ヒナたちは、最初は小さくて巣に隠れて見えなかったのですが、あっというまに目が開き羽が生え、体がどんどん大きくなっていきました。

親鳥がいないときには、黄色いくちばしを真一文字に結んでおとなしくしているヒナたちですが、親鳥が戻ってくると、我



先にと大きな口を開けてえさをねだっていて、その姿はたまらなくかわいらしく、いつまでも見ていたいと思えるほどでした。

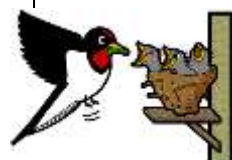
わたしが毎日楽しみに見ていたツバメの子どもたちはどんどん大きくなり、小さな巣が手ざま(暮らすには狭すぎる)になっていきました。巣から体がはみ出して、落ちるのではないかとひやひやすることもありましたが、ヒナたちは巣から落ちることもなく、上手に体を寄せ合い、親鳥が戻ってくるのを待っていました。なぜでしょうか。



それは、この巣にいれば親鳥がえさを持ってきてくれて、自分を成長させてくれることを知っていたからです。

広い外の世界よりも、この狭い巣の中が今の自分にとっては安心安全であることを知っていたからです。

もちろん親鳥が来たときに口を開けたからといって必ずえさをもらえるわけではありません。もしかしたら何度も何度ももらえないで、隣にいる兄弟姉妹ばかりがえさをもらっているかもしれません。でもツバメのヒナは、ふてくされたりあきらめたりはしません。えさがもらえるまで何度も何度も口を開けてえさをねだります。口を開けることをやめたら、えさをもらえず、死んでしまうからです。



この上尾橋高校も同じです。ある生徒にとっては、服装や髪型などに決まりがあって、息苦しいところかもしれません。もっと自由に好きなように動いて、好きなように羽を伸ばしたくなるかもしれません。でもツバメのヒナがそんなことをすれば巣から落ちてしまうように、上尾橋高校でルールを守らずに好きなように行動すると居心地が悪くなり、学校から離れてしまうことになるかもしれません。そして一度学校を離れたら、もう二度と「巣」には戻れません。あとで後悔しても、やめてしまうと戻ってくることはできないのです。

もちろんみんなはツバメではなく人間だから、たとえ高校に行かなくても生きていく方法はたくさんあります。

また上尾橋高校をあえて選ばなくても、高校を卒業することはできるし、もし上尾橋高校に入ったあとに、上尾橋高校という「巣」を途中で飛び出して「自由な世界」に出て行ったとしても生きてはいけるでしょう。

でも、狭い巣の中で一生懸命口をあけてえさをもらうヒナのように、上尾橋高校という巣の中で友だちと肩を寄せあいながら、先生の運んでくれる勉強、知識、やさしさ、厳しさというえさをもらって成長し、「上尾橋高校卒業」という立派な翼を広げて外に出て行くほうが、より高く、より遠く、より広い世界を見ることができると思うのです。



実際には上尾橋高校以外にも、公立・私立・定時制・通信制のたくさんの高校があります。それぞれによいところがたくさんあります。でももし過去に、また今、いろんな場所で、苦しい思いや傷ついた経験をした人がいるとするなら上尾橋高校に来てみませんか？上尾橋高校には、小さなツバメのヒナたちに根気強くエサを運ぶ親鳥のように、勉強でつまずいた人、人間関係で傷ついた人、大変な環境の中でがんばってきた人に、根気強く勉強を教え、話に耳を傾け、応援してくれる先生たちがいます。つらい経験や苦しい環境を乗り越えて進級卒業した先輩や、自分と同じ痛みを知っている仲間や友だちがいます。定期的に学校に来てくれるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーがいます。



保健室も、みんなの心と身体の痛みを耳を傾け、少しでも元気に学校で過ごせるように応援しています。

またもし、今までの自分を変えたい、積極的に新しいことに挑戦したいと思う人がいるなら、上尾橋高校に来てみませんか？上尾橋高校では、生徒会の仕事に挑戦してたくさんの方の前で活躍している人、部活動でがんばっている人、自分は勉強が苦手だと思っていたのに、わかる授業の中で勉強が楽しくなり、自信をつけている人がいます。あなたがその気になるなら、勉強だけではなく、今までできなかったことに挑戦できるチャンスと環境が、この上尾橋高校にはあるからです。



そして令和3年度から、埼玉県の高次通級指導の指定をきっかけに、キャッチアップタイムという1年生の新しい選択科目が始まりました。この選択科目は以下の3つの勉強の中から1つ選んでもらいます。

①アクティブコミュニケーション

障害という診断があるかどうかに関わらず、次のような生徒に対してソーシャルスキルトレーニング(コミュニケーションの取り方や、困った時の解決方法など)を中心とした勉強を少人数で行います。

(知的障害は対象外で、人数制限があります。)

- ・ほかの人と人間関係を作るのが苦手な生徒
- ・精神的なものが原因で、気持ちが不安定になりがちな生徒
- ・不注意による間違いが多い生徒
- ・自分の気持ちをコントロールするのが苦手な生徒



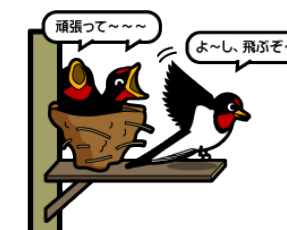
②ベーシック

学習の基礎になる国語や社会の学びなおしと、クラス全体でのソーシャルスキルトレーニングを毎週交代で行います。勉強全体に苦手意識がある人にお勧めです。

③チャレンジ

プリント教材を使って、学びなおしや得意な科目を伸ばすなど、自分のペースで学習を進めます。自分の好きな教科をもっと伸ばしたい、普段の授業よりも難しい問題に挑戦したいという人にお勧めです。

今年からプリントによるソーシャルスキルトレーニングを始めました。



もし上尾橋高校を選んでくれるなら、

- たとえちょっと狭くても(生活面でいろいろと注意されても)
- 運んでくる「えさ」があまりおいしくなくても(勉強がおもしろくなくても)
- せっかく口をあけても「えさ」をもらえないことがあっても(自分の思い通りにならないことが多くても)

少しがまんをし、友だちと譲り合い、いやなことでもがんばって取りくんでみて、あきらめず、とにかくこの上尾橋高校という「巣」の中で努力してみたいと思うのです。「親鳥」である先生たちは、みんなが上尾橋高校という「巣」の中にいるうちに、外の世界に上手に飛び立てるような力を育てたいと思っているからです。

なぜならあなたに、この上尾橋高校を「卒業」という形で旅立って欲しいと思っているからです。

今これを読んでくれているあなたに、来年の春、ここでもう一度会えることを楽しみに待っています。

